

# 地球科学輻合ゼミナール

## (2012年度 前期 第1回)のご案内

はやぶさサンプル、惑星物質科学の新展開

土山 明

京都大学 大学院 理学研究科 地質学鉱物学分野

JAXAの探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワから持ち帰った微粒子は、人類が始めて小惑星から採取したサンプルであるだけでなく、月(アポロ計画・ルナ計画)に次いで地球外天体から採取された2番目のレゴリスのサンプルでもある。2011年1月から1年間かけて初期分析がおこなわれた後、国際公募による詳細分析がこれから始まろうとしている。初期分析により何がわかったのか、何が問題なのかについて述べる。また、次期小惑星サンプルリターンであるJAXAの「はやぶさ2」計画やNASAの「OSIRIS Rex」計画についても触れたい。

4月11日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室